

# プリント基板からの溶出成分の分析

液体試料中の陽イオン成分の分析が可能です

測定法 : IC  
 製品分野 : 電子部品  
 分析目的 : 微量濃度評価・故障解析・不良解析・製品調査

## 概要

日常の様々な場所で電子機器が使われるようになり、製品の信頼性確保が重要となっています。プリント基板は高温・高湿度の環境で、配線に用いられているCuがマイグレーションを起こして不良となることが考えられるため、マイグレーションを助長する成分を評価することが重要です。本事例ではイオンクロマトグラフィー(IC)を用いて、プリント基板から溶出した陽イオン成分の定量分析を行った事例を紹介します。このようにICは固体試料表面の腐食成分の評価に有効な手法です。

## データ

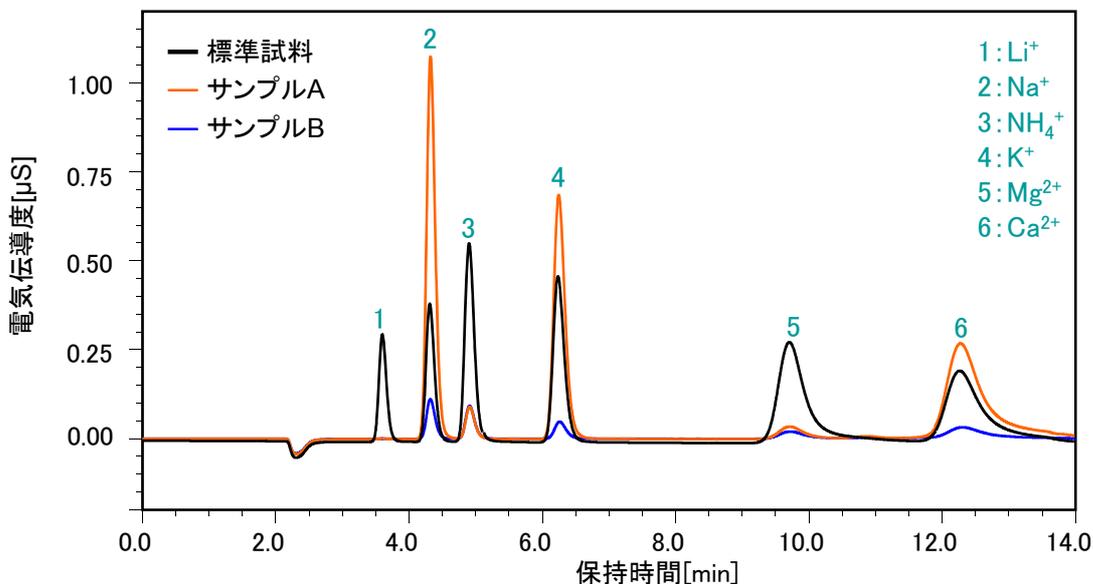
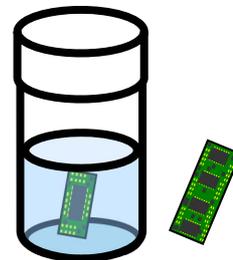


図1 クロマトグラム

表1 定量結果 単位\* μg/L

	Li <sup>+</sup>	Na <sup>+</sup>	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	K <sup>+</sup>	Mg <sup>2+</sup>	Ca <sup>2+</sup>
サンプルA	—	120	6.6	150	7.4	130
サンプルB	—	12	7.1	11	4.2	13

—: 定量下限以下を示します。  
 \*: 単位は μg/cm<sup>2</sup> などへの換算が可能です。



分析対象陽イオン: Li<sup>+</sup>, Na<sup>+</sup>, NH<sub>4</sub><sup>+</sup>, K<sup>+</sup>, Mg<sup>2+</sup>, Ca<sup>2+</sup>, アミン類等(定量下限: ~数 μg/L)  
 その他の成分についても対応可能な場合がございますので、お問合せください。

分析サービスで、あなたの研究開発を強力サポート!

一般財団法人  
**MIST** 材料科学技術振興財団

TEL : 03-3749-2525 E-mail : info@mst.or.jp  
 URL : <http://www.mst.or.jp/>